

第4学年 外国語活動学習指導案

対 象 第4学年2組29名

会 場 4年2組教室

授業者 林 美恵 (HRT)

キャサリン・スピアーズ (ALT)

1 単元名(題材名)

What do you want? ほしいものは何かな?

2 単元の目標

【知識及び技能】

食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむことができる。

【思考力・判断力・表現力】

欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

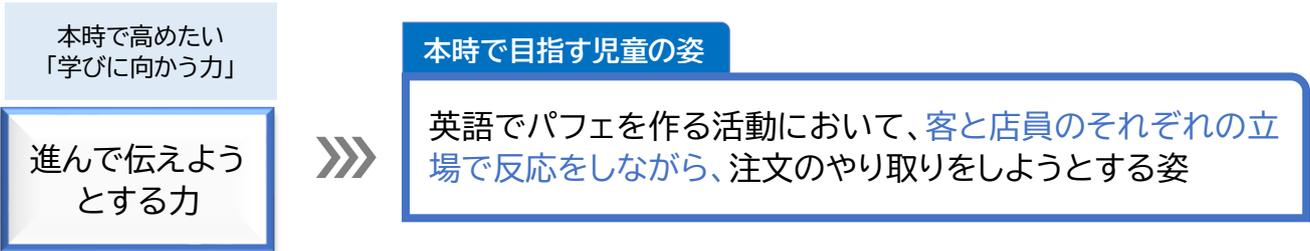
3 学習活動と評価計画(全4時間)

時	○主な学習活動	☆評価規準(評価方法)
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンツを使って発音に慣れる(食べ物) ○単語の言い方理解し、言えるようになる。 ○一つの言い方と複数の言い方の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆野菜や果物などの単語の言い方をくり返し声に出して発音することにより理解をし、言えるようになっている。【知】(発言) ☆振り返りを通して単数と複数の言い方の違いを理解している。【思】(タブレット)
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンツを使って発音に慣れる(食べ物) ○単語の言い方をくり返し練習する。(複数形の言い方も含む) ○文法の表現に慣れ親しむ。 What do you want? →I want_____,please. How many (do you want)? →_____,please. OK. Here you are. →Thank you. ○学習した表現を使って、友達とコミュニケーションを通して果物の注文をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆表現を使って相手に質問を言うことができるように何度も練習をしている。【主】
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンツを使って発音に慣れる(食べ物) ○単語の言い方をくり返し練習する。(複数形の言い方も含む) ○学習した表現を使って、友達とコミュニケーションを通してパフェを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆パフェを完成させるために意欲的にお店屋さんとの会話をして活動をしている。【主】(メニュー表) ☆学習した表現を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。【思】(タブレット)

第 4 時	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンツを使って発音に慣れる（食べ物） ○単語の言い方をくり返し練習する。 （複数形の言い方も含む） ○学習した表現を使って、友達とコミュニケーションを通してピザを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆オリジナルピザを完成させるために意欲的に友達と会話をして活動している。【主】（プリント） ☆学習した表現を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。【思】（タブレット）
-------------	---	---

4 研究主題に迫る手だて

(1) 目指す児童の姿の明確化



(2) 課題の設定

○注文し合う活動

パフェの注文のやり取りを通して、実際に客と店員の立場に分かれて注文の役割演技を行わせる。客の立場になった時、また、店員の立場になった時に、それぞれどのようなやり取りをするとよいのかを活動を通して学ばせたい。

(3) 協働的な活動の設定

○タブレットを使った交流

タブレットのスクラッチの機能を使用し、作りたいパフェを視覚化させる。客が注文したパフェの種類を店員が聞き取り、注文通りに完成させる。店員は、客の作りたいパフェを確認しながら、操作することが重要となってくる。

(4) 振り返る活動の設定

○立場を変えたコミュニケーションの振り返り

スクールライフノートを使って、店員と客のそれぞれの立場でやりとりをしてみてどうだったのかを自己評価させる。立場が変わった時にその立場に応じて、すすんでコミュニケーションを取る大切さに気付かせたい。振り返りを画面で共有することで、それぞれの児童の気づきを価値づけたい。

5 本時

(1)本時のねらい (第3時/全4時間)

既習表現を使い、客と店員に分かれてオリジナルパフェを注文して完成させることができる。

(2)学習指導過程

課題の設定に向けて

1 前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを確認する。

○注文の仕方を学びましたね。今日は、応用して、パフェ作りに挑戦してみましょう。

学習課題(めあて)

友達の話すことに反応しながら、パフェをつくろう。

協働的な活動

2 デモンストレーションを見て、やり方を理解する。

○先生たちでお客さんとお店の人になってやってみるので見ていてください。

- ・ どうやればいいのか分かった。
- ・ 早くやってみたいな。
- ・ おもしろそう。

3 それぞれの役割に合わせて実際にやってみる。

○お客さんと店員さんにわかれて実際にやってみましょう。

- ・ (メニュー表を指さしながら)『OK?』と聞く
- ・ Excuse me. I want a parfait.
- ・ OK. What ice cream do you want? →I want _____ ,please.
- ・ What fruits do you want? →I want _____ ,please.
- ・ How many (do you want)? → _____ ,please.

☆One more time please! (聞き取れない時に使うフレーズ)

- ・ OK. Here you are. →Thank you.

振り返る活動

4 本時の学習を振り返る。

○今日は友達の話に反応しながらパフェを作ることができましたか。

自分はどんな反応ができましたか?友達にどんな反応をしてもらって嬉しかったですか。

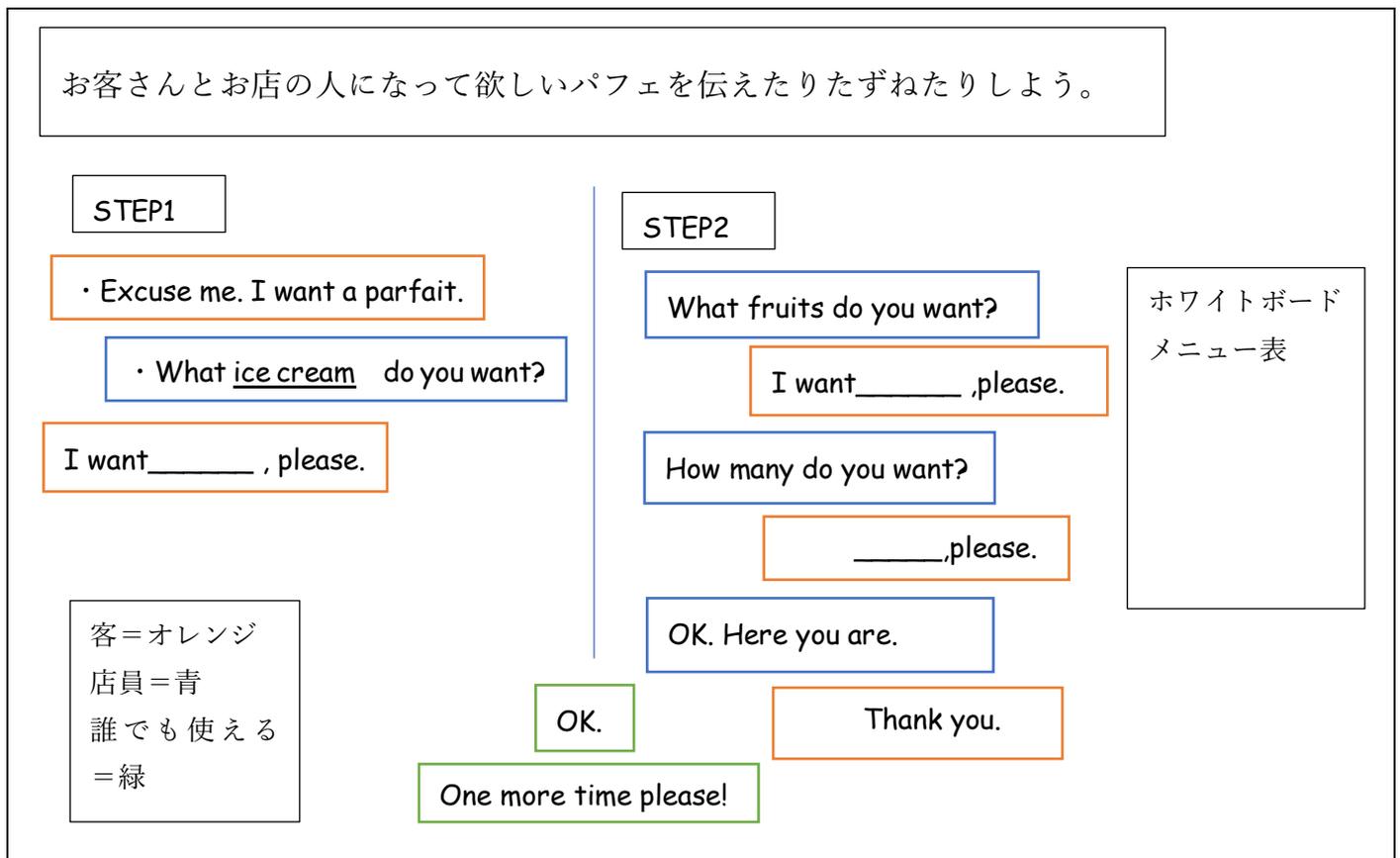
- ・ 店員の時にお客さんに注文されたものを確認するために、OK?ということができた。
- ・ お客さんの時に、注文するものが分からなくて困っていて店員さんがメニューを指し示してくれたことが嬉しかった。

本時の評価基準【主体的に学習に取り組む態度】

友達の話に反応しながらパフェを作ることができたか。

【本時の展開】

展開	学習活動 TC:日直 C:児童 HRT:担任 ALT	指導上の留意点	☆評価 ・準備物
導入 5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">チャンツ活動</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's try のデジタル教科書の動画 (Let's chant♪) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あいさつ</p> <p>TC: Good afternoon everyone. C: Good afternoon MS_____,MR_____.</p> <p>TC: How are you? C: I'm fine thank you, and you? TC: I'm_____.</p> <p>TC: How's the weather? C: I's_____.</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル教科書
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お客さんとお店の人になって 1 パフェを伝えたりたずねたりしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単語 (単数と複数) や前時の表現の復習 ・ ALT と HRT のデモンストレーションを見る。 ・ 実際に客と店員に分かれて活動し、時間で交換する。 ・ (一度やってみて) 途中で止めて聞いてみる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される表現</p> <p>お客) ・ Excuse me. I want a parfait.</p> <p>店員) ・ OK. What <u>ice cream</u> do you want? → I want_____, please.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What fruits do you want? → I want_____, please. ・ How many (do you want)? → _____, please. <p>☆ One more time please! (聞き取れない時に使うフレーズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OK. Here you are. → Thank you. </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現を復習し、使えるようにする。 ・ 質問を聞く。 ・ 活動を中断し、客と店員のよいやり取りをしている児童の模範を示す。 	<p>タブレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メニュー表 <p>☆ パフェを完成させるために意欲的にお店屋さんとお話をしている。</p> <p>【主】 (メニュー表) (タブレット)</p>
振返り 10分 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本活動を通して、めあてに近づけたか、また達成するにあたり、頑張ったこと、難しかったことを書く。 <p>HRT: Thank you every one. C: Thank you MS. (Mr.) _____ and Ms. Keity. ALT: See you. Bye! C: See you.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールライフノート <p>☆ 学習した表現を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。</p> <p>【思】 (タブレット)</p>



ふり返りの視点

- 友達とパフェを作る活動でのやりとりで大切だと思ったこと。
- お客さんと店員さんのそれぞれの立場にたった時のことを書く。
(お客さんのときは…/店員さんのときは…)